

2013.8.15

しんぶん 赤旗

(第3種郵便物認可)

家庭的保育の魅力 少人数ですくすく

家庭的な雰囲気大切に、子どもたちの育ちを保障する家庭的保育。第45回全国保育団体合同研究会の分科会（11日、神奈川県相模原市）で、その魅力と課題を語り合いました。

全国保育団体合同研究会

保育園と連携

保育者の自宅やその他の場所で、家庭的な雰囲気の中で保育する制度です。児童福祉法にもとづき市区町村が実施する公的な保育です。保育士を基本に、市区町村から認定を受けた家庭保育福祉員が

保育します。

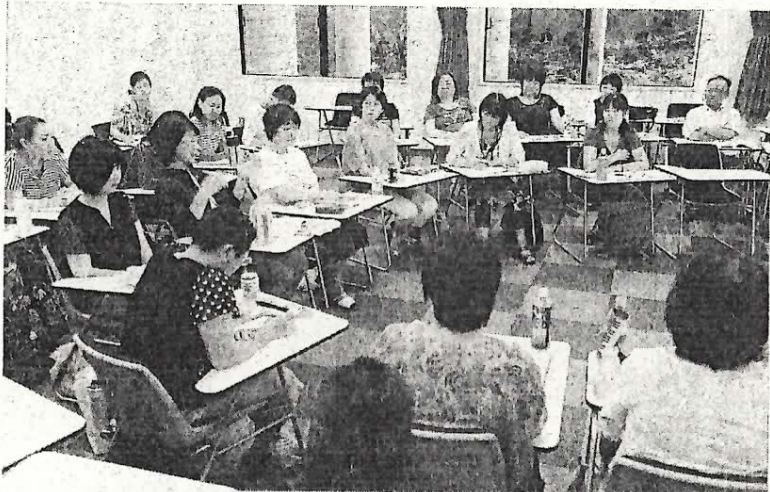
何よりの魅力は、少人数であることです。あわせて近くの保育園と連携して、大きな集団で遊んだり、発達状況の相談をしたりしながら、保育をすすめています。

名古屋市の木下志穂さんは、自宅敷地内に

ある夫の店を改装した際に保育室を併設し、2009年に開設しました。

定員は3人。木の素材をふんだんに使い、ままごと・絵本・遊びのスペースをそれぞれ確保し、落ち着いて一人遊びができるようにしました。本棚やままごと用のキッチン、保護者の手作りで

分科会「家庭的保育の現状と課題」で交流する参加者11日、神奈川県相模原市



天気がいい日は弁当をもってピクニックを楽しんだり、わざとバスで遠回りして児童館に出かけたり。小回りがきく保育ができるのも少人数ならではの連続保育所での交流もあわせ、「積極的に地域で子どもを育て